

令和2年2月14日

保護者各位

アマービレ ピアノ音楽教室
代表 牧野智博

新型コロナウイルス感染症への対応について

日頃より当教室の教育活動について、ご理解・ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、昨今の報道でご周知のとおり、中華人民共和国湖北省武漢市で発生した新型コロナウイルスに関連した感染症に関して、国において2月から感染症法の「指定感染症」に指定され、法に基づく医師の届け出、積極的疫学調査、患者への医療提供などを行う対象となりました。(学校保健安全法においても「第一種感染症」とみなされました。)

当教室では、生徒さんや関係者の方々に、安心して音楽教育を受講していただけるよう、早い時期から手洗い・手拭き・アルコール消毒、加湿といった感染症を防ぐために有効とされている対策を取り入れ、最大限の衛生環境維持に努めています。

今後も、当教室で安心して音楽教育を受けていただけるよう、関係者一同努力してまいり所存でございますので、皆様方に置かれましても深いご理解ご協力をいただけますよう宜しくお願ひいたします。

◆家庭でのお願い◆

新型コロナウイルスは国内において人から人への感染は認められましたが、現時点では広く流行が認められている状況ではありません。(2月14日現在)。現時点においては、ご家庭では季節性インフルエンザと同様の基本的な感染症対策に勤めていただくようお願いいたします。

◎生徒本人の日常生活において、帰宅後や食事前などこまめな手洗い、うがいを励行する。流水と石鹼による手洗いを何度も行いましょう。特に外出した後や咳をした後は、口や鼻、目などを触る前に手洗いを徹底しましょう。

◎インフルエンザ、風邪なども含め、咳やくしゃみがあるときは必ずマスクを着用する。
(咳エチケット) 人が多く集まる場所では予防としてのマスクの着用も有効とされています。

◎生徒本人および同居の家族に発熱、咳などの呼吸器症状、下痢などの体調不良がみられた場合は、早めに医療機関への受診をする。

*生徒本人が当該感染症と診断された場合は、治癒するまで出席停止となり学校に登校することはできません。

当教室でも、同様の対応をいたしますので教室への出席はお控えください。

(欠席の扱いにはいたしませんので療養および感染防止に努めてください。)

同居のご家族が診断された場合は、その時点での国の指針による対応になります。

いずれの場合も、速やかに当教室への連絡をお願いいたします。

新型コロナウイルスに注意

2019年12月より、中国で新型コロナウイルスによる肺炎が発生しており日本国内でも感染者が報告されております。厚生労働省は、季節性インフルエンザと同様にマスクの着用を含む咳エチケットや手洗いなどの感染症対策に努めるよう求めています。

新型コロナウイルス感染症とは？

新型コロナウイルス感染症とは、過去にヒトで感染が確認されていなかった新種のコロナウイルスが原因と考えられる感染症です。日本では1月28日に、今回の新型コロナウイルス感染症に関して、感染症法に基づく「指定感染症」と検疫法の「検疫感染症」に指定する政令が閣議決定し交付されました。これにより、患者に入院勧告や就業制限などが可能となり、入院勧告で入院した場合の医療費は公費で負担されます。また、全ての患者を把握するため、診断した医師は届け出の必要があります。

※コロナウイルスとは

人や動物の間で広く感染症を引き起こすウイルスです。

人に感染症を引き起こすものはこれまで6種類が知られていますが、深刻な呼吸器疾患を引き起こすことがあるSARS-CoV(重症急性呼吸器症候群コロナウイルス)とMERS-CoV(中東呼吸器症候群コロナウイルス)以外は、感染しても通常の風邪などの重度でない症状にとどまります。

コロナウイルスの構造について

ウイルスはその構造からエンベロープ(脂質性の膜)のあるウイルス(エンベロープウイルス)と、エンベロープのないウイルス(ノンエンベロープウイルス)に分けられる。

エンベロープウイルスは、アルコール消毒剤によりダメージを受けやすい。

インフルエンザウイルス、コロナウイルス、ヘルペスウイルス、風疹ウイルス、エイズウイルスなど。

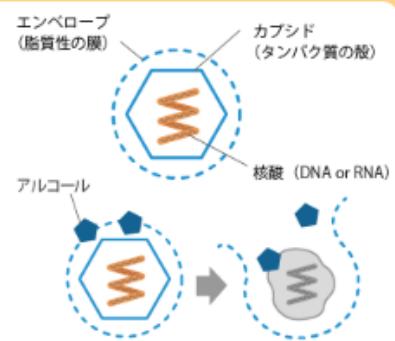


コロナウイルスの構造について

ウイルスはその構造からエンベロープ(脂質性の膜)のあるウイルス(エンベロープウイルス)と、エンベロープのないウイルス(ノンエンベロープウイルス)に分けられる。

エンベロープウイルスは、アルコール消毒剤によりダメージを受けやすい。

インフルエンザウイルス、コロナウイルス、ヘルペスウイルス、風疹ウイルス、エイズウイルスなど。



アルコールが膜を壊して
ウイルスにダメージを与える

※ウシコロナウイルスに対して、アルコール消毒剤が不活化効果を持つことが報告されています。 (松村ら、防菌防黴 Vol.41 (2013))

感染を拡大させないため、対策しましょう

新型コロナウイルス感染症がどのように感染するのかについては、現時点では、飛沫感染（ひまつかんせん）と接触感染の2つが考えられます。



潜伏期間

現在のところ不明ですが、他のコロナウイルスの状況などから、最大14日程度と考えられています。なお、世界保健機関（WHO）のQ&Aによれば、現時点の潜伏期間は1～12.5日（多くは5～6日）とされており、また、他のコロナウイルスの情報などから、感染者は14日間の健康状態の観察が推奨されています。

感染症対策

手洗いやマスクの着用を含む咳エチケットなど通常の感染対策が重要です。

手洗い・手指消毒

こまめに石けんと流水の手洗いまたはアルコール手指消毒剤を用いた手指消毒を行い、手を清潔に保ちます。石けんと流水の日常的な手洗いだけでは落としきれずに残ったウイルスや細菌を除去するために、さらにアルコール手指消毒を行うことも有効です。しっかり手洗い・消毒し、感染をストップさせましょう。

マスクの効果

マスクは、咳やくしゃみによる飛沫及びそれに含まれるウイルス等病原体の飛散を防ぐ効果が高いとされています。咳やくしゃみ等の症状のある人は積極的にマスクをつけましょう。

予防用にマスクを着用することは、混み合った場所、特に屋内や乗り物など換気が不十分な場所では一つの感染予防策と考えられますが、屋外などでは、相当混み合っていない限り、マスクを着用することによる効果はあまり認められていません。

＜咳工チケット＞

- ・ 咳やくしゃみが出る時は、他の人にうつさないためにマスクを着用しましょう。
- ・ マスクを持っていない場合、咳やくしゃみをする際は、ティッシュや腕の内側などで口と鼻を押さえ、他の人から顔をそむけて1m以上離れましょう。
- ・ 鼻汁や痰の付いたティッシュはすぐにゴミ箱に捨て、手のひらで咳やくしゃみを受け止めた時はすぐに手を洗いましょう。

＜正しい着用方法＞



新型コロナウイルス感染症かな？と思ったら

- ・ 中国・湖北省から日本へ帰国される方は、検疫官に申告する義務があります。帰国より14日以内に湖北省での滞在歴がある場合、検疫官からの指導に従い適切な行動をしてください。
- ・ 湖北省から帰国・入国される方あるいはこれらの方と接触された方で、咳や発熱等の症状がある場合には、マスクを着用するなどし、事前に保健所へ連絡したうえで、受診してください。
- ・ 医療機関の受診にあっては、湖北省の滞在歴があることまたは湖北省に滞在歴がある方と接触したことを事前に申し出てください。